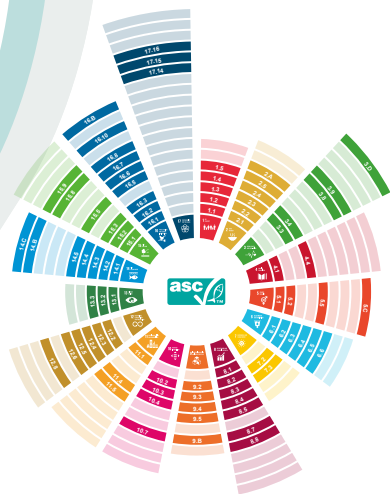


## ASC 認証によるメリット

- 次世代に繋げる持続可能（サステナブル）な養殖業を実現できます。
- 取引先、顧客など関係するサプライチェーンでの対外的評価が向上します。
- 世界で採用されている国際認証により新しい市場への販路開拓に利用できます。
- 厳格なトレーサビリティの仕組みで、商品の安心と安全が確保できます。
- 企業の CSR 報告、TNFD、ESG 投融資にも包括的に貢献します。
- 国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献します。



## SDGs に対する ASC 認証の貢献度

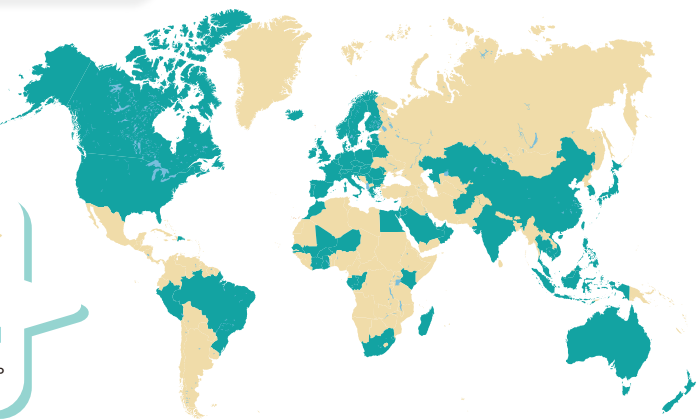
国連の持続可能な開発目標（SDGs）に含まれる 17 のゴールと 169 のターゲットのうち約半分（49%）が水産養殖の活動と関連性があり、ASC 認証の取得によりその内 80% のターゲットの達成に貢献することができます。

レポートの詳細はこちらから▶



## ASC 認証のマーケット

ASC 商品は世界の  
**99 개국**  
**25,000 商品**  
が販売されています。



ASC（水産養殖管理協議会）ジャパン  
<https://jp.asc-aqua.org/>

ASC ジャパン 🔍 検索



# ASC

Aquaculture Stewardship Council

責任ある養殖により  
生産された水産物

**asc**

認証  
ASC-AQUA.ORG

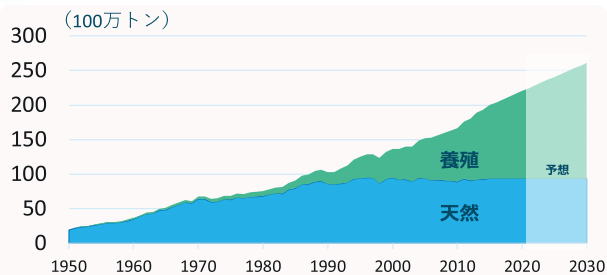


責任ある養殖により生産された水産物

## ASC とは？

ASC (Aquaculture Stewardship Council : 水産養殖管理協議会) は、環境と社会に配慮した責任ある養殖により生産された水産物を対象とする認証制度を運営しています。2010 年に国際非営利団体としてオランダに本部を置く組織として設立されました。

### 世界の水産物生産量



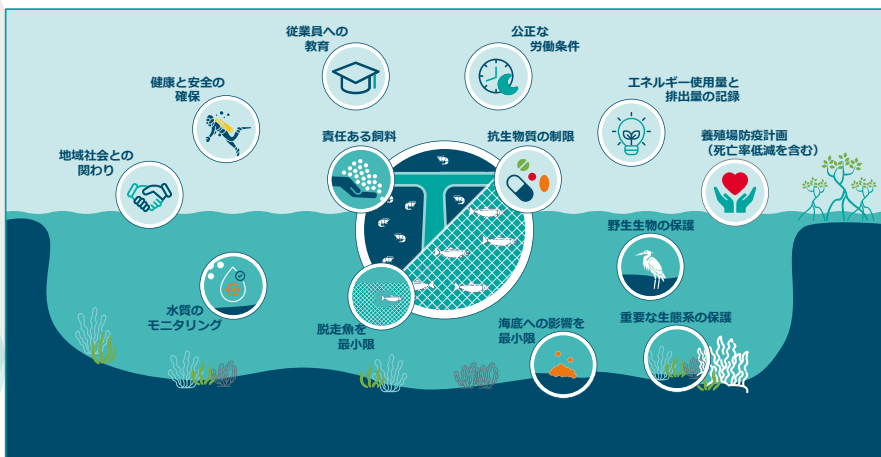
現在、世界の水産物のおよそ半分は養殖によるものです。今後は世界のさらなる人口増加と生活水準の向上で、水産物の需要がさらに増加することが予想されています。天然水産物の漁獲をこれから大幅に増やすことは難しく、今後増加する水産物の需要を養殖によって満たすことが期待されています。

## 養殖業の課題

水産養殖業は、海洋環境の悪化、工サとなる天然魚の利用による海洋資源への影響、養殖魚の逃避による生態系の乱れなど、環境に悪影響を及ぼすケースが少なくありません。また、労働条件や地域との関わりなど社会的な問題を抱えている場合もあります。これらの課題を解決し、持続可能な形で養殖業を次世代へつなげるのが ASC の認証制度です。

### ASC の 7 原則

- 国および地域の法律および規制への準拠
- 自然生息地、地域の生物多様性および生態系の保全
- 野生個体群の多様性の維持
- 水資源および水質の保全
- 飼料およびその他の資源の責任ある利用
- 適切な魚病管理、抗生物質や化学物質の管理と責任ある使用
- 地域社会に対する責任と適切な労働環境



## ASC 養殖場統一基準

ASC 養殖場統一基準は、水産養殖業に関連する主要な環境的、社会的影響を最小限に抑えることを目的として策定されています。以前までの 11 魚種個別の基準が統一され、また生産方法に応じた要求事項と指標が含まれています。現在 (2024 年 3 月) の対象魚種はサケ、ブリ・スギ、淡水マス、スズキ・タイ・オオニベ、ティラピア、パンガシウス、二枚貝 (カキ、ムール貝、アサリ、ホタテ)、アワビ、エビ、カレイ目の魚類、熱帯魚類ですが、随時新しい魚種を追加予定です。



## ASC 認証の仕組み

ASC 認証は【ASC 飼料認証】【ASC 養殖場認証】【CoC 認証】によって構成されています。ASC 飼料認証では、飼料工場が環境的・社会的要件を満たすことが求められ、ASC 認証を取得する養殖事業者は、ASC 飼料認証を取得した飼料工場の飼料を使用しなければなりません。それにより飼料原料の様々な課題に包括的な対応をすることができます。ASC 養殖場認証では、基準に従って養殖場の審査が行われます。基準には海底の汚染指標、工サ原料となる天然魚の使用率、地域社会との関わりなど、7 原則に沿って細かな審査基準が設けられており、養殖場はこれらの項目を満たしていることを証明する必要があります。CoC 認証は、加工、流通の過程で認証水産物と非認証水産物が混ざらないように厳格に管理することを目的とした認証です。これらの審査は、独立した民間の審査機関によって行われ、審査レポートも公開し透明性を保っています。

このような仕組みにより ASC 認証は、環境と社会に配慮した責任ある養殖により生産された水産物を、確実に消費者に届けることができます。また認証製品には ASC ラベルが貼付され消費者は持続可能な水産物を選ぶことができます。

